

認知症ケア支援VR



User's
Voice
vol.29



FACE DUO

株式会社ツクイ

インタビュー
動画はこちら



株式会社ツクイ
葛島 様



株式会社ツクイ
坂下 様

株式会社ツクイの取り組みについて

ツクイは全国で介護サービスを展開しており、認知症のある方への支援体制強化に取り組んでいます。その取り組みの一つが、「認知症サポートプロジェクト」です。

このプロジェクトでは、「スタッフ向けの認知症ケア研修の充実」と「地域住民への啓発活動の推進」の2つの柱を中心に、認知症のある方が安心して暮らせる地域づくりを目指しています。



認知症を正しく理解できる“体験型学習”を求めて

地域の皆さまに認知症への理解を深めていただく取り組みとして、従来はスライドやパンフレットを用いた説明を行ってききました。しかし、「認知症の症状がイメージしにくい」「本人がどのように感じているか分かりにくい」という課題がありました。また、参加者の興味を引くイベントづくりにも時間を要していました。そこで2025年11月より、VRを用いた教育プログラム「FACEDUO 認知症ケア支援」を導入を決めました。ゴーグルを装着して映像を見るだけでなく、“認知症のある方の視点に立って体験できる”という点が、幅広い年齢層の参加者から高く評価されています。

地域啓発イベントでの活用

VRの活用が非常に好評のため、現在は予約制にして全国の事業所が順番に活用しています。導入後、ツクイが各地で開催したイベントや地域住民に向けた講座では、参加者の興味関心がこれまで以上に高まり、満足度の向上にもつながりました。VR体験後には、「認知症のある方の気持ちが理解できた」「どう接すれば良いかイメージできた」という声が多数寄せられ、啓発ツールとしての価値を実感しています。実際に最も利用回数が多かった2026年2月のイベントについて参考までに下記に記載させていただきます。



- 【日付・場所・イベント名】
- 2月10日～15日、兵庫県、「認知症のある方とその家族を支える会」
 - 2月1日～10日、大阪府「ケアマネジャー交流会」
 - 2月19日～27日、南東北エリア「認知症のある方とその家族を支える会」

スタッフ向けの研修における活用

ツクイは人材育成に力を入れています。FACEDUOは、認知症のある方の視点に立ち、ご本人の気持ちに寄り添ったケアを始めるきっかけとなります。また、新たな気づきも得ることができ、介護職の経験年数に関わらず、共通の視点で学べるというメリットも魅力的です。

さらに、プログラムは認知症介護研究・研修仙台センターの加藤先生が監修しており、質が担保された学習ができる点も評価されています。

体験したスタッフの感想

- 私たちが普段何気なくお客様にかけている言葉や表情が、実際はどのように見えているのかを知るきっかけになりました。
- FACEDUOを通じてこれまでの自分の認知症ケアを振り返ることができます。「次回からはこのように話しかけてみよう」という新たな発見がありました。
- お客様の視点に立って学ぶことで、自然とよりよい介護の考え方が身につくようになったと思います。

今後の活用について

地域に向けた啓発イベント、スタッフ研修、認知症サポーター養成講座の開催や、事業所で行うご家族との面談など、活用場面をさらに広げていく予定です。認知症のある方が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、FACEDUOを活用した学びの機会を継続して提供していきます。

認知症ケア支援VRについて

感情に加え、行動心理学の知見も踏まえた、科学的で実践的な教材

行動の背景を理解する

相手の気持ちを尊重した接し方



介護者が戸惑った場面を、家族の目線で体験。



同じ場面を認知症の方目線で体験し、行動の背景にある気持ちに気付く。



今回の行動に対して、関わり方の工夫を発見する。



工夫の実践を、認知症の方の目線で体験する。

認知症の方の心の理解、理解にもとづいた「認知症の方に配慮したコミュニケーション」について、**応用行動分析の考え方**と**認知行動療法**の理論を取り入れたケアの方法を学べるように構造化されています。

認知症ケア支援VRに関するお問合せ、体験会の要望は、FACEDUO事務局及び、右記二次元コードよりご連絡ください▶



詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造

JOLLY GOOD!

2026年4月作成
FD2604005